

平成26年度第2回中央区自殺対策協議会 議事（要旨）

---

1 日時 平成27年2月16日（月） 午後7時～午後8時40分

2 場所 中央区保健所2階大会議室

3 出席者

【委員】

松本俊彦(委員長)、井上悟(副委員長)、石松伸一、池田真人、宮崎舜賢、栗原正典、埴佳生、阿部円、前田宥全、蓮池秀夫、小澤正（代理）、山上嘉人（代理）、佐藤幸喜（代理）、岩崎隆浩、市川和浩（代理）

新治満、平林治樹、長嶋育夫、和田哲明、坂田直昭

【事務局】

健康推進課長、予防係長、健康推進主査、他

（主な議題）

- 1 委員長・副委員長の選任
  - 2 本年度及び来年度の取組み
  - 3 自殺未遂者調査の結果報告について
- 

[議事の経過]

1 委員長・副委員長の選任

○中央区自殺対策協議会設置要綱に基づき、松本委員が委員長に選任された。

○松本委員長より井上委員が副委員長に任命された。

2 本年度及び来年度の取組み

事務局より本年度及び来年度の取組みの報告があり、その後意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおりである。

（事務局説明）

○人材育成については、ゲートキーパー養成講座を年2回開催し、今年度1回を民生委員を対象者として実施した。

（委員からの意見）

○ゲートキーパー養成講座の周知方法として、医師会を活用していただくのもいいかと思う。

○医師や看護師だけでなく、いろいろな職種の方、あるいは専門能力を持ってない方にも講座を受講していただけるアイデアを出して、対象者を広げていくことができたらいいと思う。

3 自殺未遂者調査の結果報告について

委員長より自殺未遂者調査の結果について報告があり、その後意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおりである。

(委員長説明)

- 過量服薬による自殺未遂が多い点に鑑み、適切な服薬指導等、薬剤師と連携した過量服薬を防止する仕組みを作っていく必要がある。
- 女性の自殺未遂者が多くなっており、女性の自殺対策も非常に大切である。まずは福祉と医療が協力し女性のいきづらさに関して、詳細な情報を収集していくことが必要である。

(委員からの意見)

- 単身女性が孤独感や疎外感にさいなまれないようにする支援策を検討していくことが重要だと思う。
- 限られた時間とマンパワーの中で、このような報告ができたことは非常に良かったと思う。

4 その他

平成27年度第1回中央区自殺対策協議会は、7月頃開催されることが決定した。